

## 製品紹介

確かな技術力で生み出される世界に誇れる製品の数々。日々、積み重ねられた技術力で作られる製品は、どれも高い評価を得る逸品。ここでは、その中でも特に主力の製品を紹介します。

### 止水板

近年の大型台風や集中豪雨による浸水などによる建物被害の増加を受け、玄関先に容易に設置できる止水板を開発。水の侵入も微量で、被害を最小限にすることが可能です。



愛知県江南市にあるKTX株式会社本社工場

創業者の野田泰義会長が世界で初めて開発したポーラス電鋳(穴あき電気鋳造金型)は、国内外のほとんどの自動車メーカーが採用。高級車などのダッシュボードやインパネ部分の皮革調の内装を本革のように見せ、短時間で大量に生産することができます。穴あき電気鋳造業界では、90%強の世界シェアを有しており、世界でも3社しかありません。

KTX株式会社は、自動車のみならず、航空機や医療機器の金型も製造しており、ポーラス電鋳をはじめとした特許を取得しています。2014年に「グローバルニッチトップ企業100」に認定、2017年に会長が「旭日双光章」を受賞、2020年に「地域未来牽引企業」に認定されるなど数々の受賞歴から国内外で高い評価を得ている事がわかります。

平戸工場ではこれまで培った技術力を結集し、新たな事業分野となる人口関節を始めとする医療機器の製造を行う予定です。

### ポーラス電鋳

独自開発した新技術で、一般的な技術と比較し、製造工程・使用年数・作業人員などのコスト削減効果に優れ、自動車の量産金型の製作においても、環境負荷低減の効果で高い評価。



### 人口関節

国内の人口関節の約80%は輸入品であり、災害などで輸入がストップする恐れもあります。医師免許を持つ野田社長の知見を生かして、国産の人口関節の開発・製造に取り組みます。



### 国内・海外の自動車メーカーが認めた世界水準の独自の技術

主に金型(金属で制作した型枠)を製造するKTX株式会社。自動車内装部品のダッシュボードやインパネ関係の金型が主力です。KTX株式会社が作る金型は世界中から高い評価を得ており、そこには独自の技術が隠されています。

級車などのダッシュボードやインパネ部分の皮革調の内装を本革のように見せ、短時間で大量に生産することができます。穴あき電気鋳造業界では、90%強の世界シェアを有しており、世界でも3社しかありません。

# メイド・イン・平戸を世界へ

令和3年3月吉日。平戸市工業団地に世界に誇れる技術力をもった企業が進出することが決定。会長が「一から作り上げた高い技術力と社長が培った時代のニーズへの対応力の高さで、日本国内に限らず世界中の自動車メーカーや飛行機メーカーなどの受注を一手に引き受けるKTX株式会社。今回は、KTX株式会社について紹介します。

■文化観光工商部企業立地推進室(☎229142)



Corporate Introduction

## KTX株式会社

詳細な企業情報は  
こちらから



### 会社概要

- 会社名称 KTX株式会社
- 本社所在地 愛知県江南市安良町地蔵51番地
- 代表者 代表取締役社長 野田 太一
- 設立年月 昭和50年6月(創業 昭和40年1月)
- 従業員数 220人
- 事業内容 自動車、航空機、医療機器および住宅設備生産用の金型製造並びに各種生産設備機器製造
- 売上高 39億7,600万円(令和2年4月期)



野田 泰義 会長

**会** それから、工業団地の敷地の広さも大きな魅力でした。最初は、小さな工場からのスタートとなります

**社** 平戸市に進出を決める前に、県産業振興財団から長崎県内の企業を紹介され、その企業に水害時に店舗玄関に取り付ける止水板の製造を委託したのですが、この企業の技術力の高さに感動しました。その後、同財団から平戸市工業団地を紹介いただいたのがきっかけです。工業団地を視察し、自然豊かな環境で地盤が強固なこと、西九州道を利用して北部九州へのアクセスがしやすいこと、東アジアに近いことなどを総合的に判断しました。また、県や市の担当者の丁寧で熱心なサポートもあり、立地を決めました。

でいただいた訳ですが、決め手になったポイントはあったのですか。

**社** 平戸工場の名称は「長崎平戸ラボラトリーズ」と命名しました。ラボラトリーは研究所という意味です。平戸市では当社の新規事業を研究・開発し、新しい製品を作りだしていくと考えています。具体的には、人工関節や人工骨の製造をメインにさまざまな医療機器を製造します。なぜ、人工関節かと言うと、国内では人工関節の使用量は年々増えています。実は8割以上は輸入製品

**黒** 将来が楽しみです。平戸市工業団地は高台に位置し、津波や地震などの自然災害の心配もなく、自然豊かな環境で仕事ができるので、新たなアイデアや技術が生まれやすい環境ではないかと思っています。西九州道も順調に工事が進んでおり、予定されている最寄りのICまでは車で7分ほどの距離です。では、平戸市の工場ではどのような事業を予定しているのでしょうか。

**「長崎平戸ラボラトリーズ」の事業内容とは**

が、拡張の余地が十分にありませんので、敷地を十分に生かせるように事業拡大していきたいと思っています。



野田 太一 社長

です。今回の新型コロナの影響でサプライチェーン（部品や材料の調達・供給網）の重要性が浮き彫りになり、国産化も必要であると考え、この事業を平戸市でやろうと決断しました。もちろん、本業である自動車や航空宇宙関連製品の開発・製造もする予定です。

**黒** メイド・イン・平戸の製品が国内外で評価されることが楽しみです。医療機器の製造は平戸市にとっても新たな分野の取り組みです。これから幅広くさまざまな分野に展開されることを期待するとともに、関連企業や関連産業を呼び寄せる力をお持ちだと思っています。KTX株式会社の進出決定は、製造業では14年ぶりのことです。ぜひ地域とともに成長できますように、県や関係機関と連携して支援させていただくことをお約束します。

なんです。今回の新型コロナの影響でサプライチェーン（部品や材料の調達・供給網）の重要性が浮き彫りになり、国産化も必要であると考え、この事業を平戸市でやろうと決断しました。もちろん、本業である自動車や航空宇宙関連製品の開発・製造もする予定です。

# KTX会長・社長、平戸市長の3者鼎談



KTX株式会社の野田会長、野田社長に平戸市へ企業進出した理由や平戸のイメージなどについて聞きました。

**会** 野田 泰義 会長  
**社** 野田 太一 社長  
**黒** 黒田 成彦 市長

**KTX株式会社の生い立ちと現在の主力事業とは**

**黒** このたびは、新たな生産拠点として平戸市を選んでいただき感謝申し上げます。心より歓迎いたします。

**社** そのようにおっしゃっていただいて、私も嬉しく思います。実は、九州には縁があり、私が元自衛官として勤務していた頃に、福岡県久留米市に在籍していたことがあります。また、私は医師免許も持っており、アルバイトで佐世保市の病院で勤務したこともあります。その時に、旅行で平戸まで足を伸ばし、自然豊かで、平戸の人たちの温かさが印象に残っています。

**黒** 自衛官、医者と異色の経歴で驚きました。

会社の生い立ちや現在の事業内容についてお聞かせいただけますか。

**会** 昭和40年、仏壇金具製造業として1人で事業を始めました。昭和50年に法人化してからすばらしいお客様や社員に恵まれ自動車内装品金型を製造するなど今日に至っています。現在は、愛知県に本社、江南工場

テクニカルセンター、犬山工場があり、アメリカ、タイ、韓国に製造拠点、中国に営業所を構えています。



黒田 成彦 市長

**社** 現在の事業は、先代が開発したポータス電鍍を柱とした、電鍍金型の製造をメインに行っており、国内外を問わず、ほとんどの自動車メーカーに製品を納入しています。特に、電鍍金型の中でも穴あき電鍍と呼ばれるものは、業界で90%強の世界シェアを有しています。世界でも当社を含めて3社しかありません。大手自動車メーカーのティア1（1次下請け）として、お客様から技術力をご評価いただいています。

**平戸進出の決め手とは**

**黒** まさに、ニッチな分野で事業を展開しておられるんですね。このたび、新たな拠点として平戸市を選ん

## KTX株式会社立地発表式

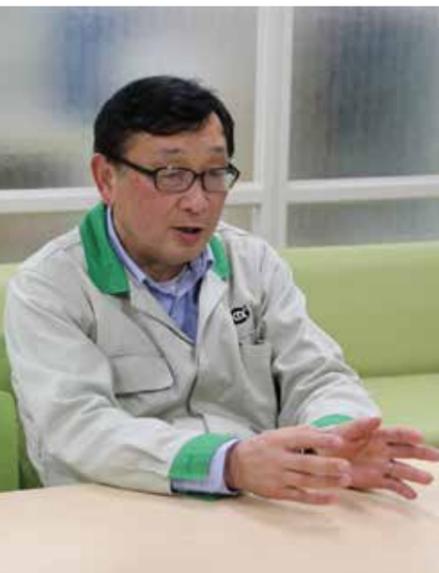
3月23日、KTX株式会社の平戸市への立地発表式がホテルニュー長崎で行われました。

発表式には、KTX株式会社の野田会長、野田社長、黒田市長、長崎県の中村法道知事が出席。野田会長から会社の沿革についての説明が行われ、野田社長から平戸市への進出の決め手や平戸市で行われる事業などが語られました。



# KTXが求める人材像

人事担当者が語る求める人材とKTX株式会社の魅力とは



取締役総務部長  
今野 秀和さん

「前向きで明るく、弊社の仕事に興味を持ってくれる人を採用したい」

**明るく前向きな人材を**  
弊社としては、前向きで明るい人、弊社の仕事に興味を持ってくれる人を採用したいと思っています。  
平戸市に設立する「長崎平戸ポラトリーズ」では、基本的には、最初に高専・大卒の人を採用したいと思っています。その後、工場が軌道に乗ってから、工業高校などの生徒を採用したいと考えています。高校を卒業してすぐの社員はなにかと不安もあると思いますので、当面の間

は、愛知県での研修を検討しており、本社工場の技術者から基礎的な事やノウハウを学ぶことができるとしています。また、新卒だけでなく中途採用も予定しています。新卒で入った社員の新しい着眼点や新たなものを生み出す力、突破力に加え、経験豊富な中堅社員の存在も重要です。採用に当たっては、工業高校などで会社説明会を行っています。学生からの評判も良く、学校とも良好な関係を築くことができます。3月には早速、鹿町工業高校

また、数年に1回は社員旅行で海外へ行っています。これまで、 Guam・台湾・ベトナムなどへ行きました。若い社員も気兼ねなく参加してくれており、社員同士の親睦を深める大事な機会になっています。

**働きやすく休みも取れる職場環境**  
弊社の取引先は大企業が主ですので、その企業に合わせた休みになります。土日休みに加え、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆などは長期休暇となります。中小企業で年間120日の休みがある企業は珍しいのではないのでしょうか。



職場見学をする佐世保工業高等専門学校の学生



休憩中にエアホッケーを楽しむ社員の皆さん



数年に1度、社員旅行で海外へ

## 「工業系の学校出身でなくても働きやすい職場ですね」

もともと車が大好きで、卒業した大学は、現在の仕事とは無関係な分野ではありましたが、自分の趣味や経験、そしてやる気ややってみようと思いつきました。

入社当初は、専門用語や機械の操作方法が全くわからず不安もありましたが、基礎的な事については研修で学ぶことができました。先輩方も優しく教えてくれるので、工業系出身でなくても心配しなくても大丈夫です。おかげで現在では、6種類の機械を操作できるようになりました。

現在は、金型の小さい部品を機械を使って加工する仕事をしています。毎日、その日のスケジュールと目標を設定して、仕事を進めるように心がけています。突発的に仕事が入る事もありますが、スケジュール通りに仕事が進み、目標を達成できた時は嬉しいですね。

この会社は、年末年始やお盆など長期休暇が長く、休みを取りやすいです。職場の先輩もわからないことがあれば、優しく教えてくれるので、働きやすい会社だと思いますね。



水谷 美里さん  
(入社3年目)

## KTXを支える若き技術者たち

若き技術者たちが語る入社のかっこいいと仕事のやりがいとは

### 「自分のやりたいことを応援し後押ししてくれる会社です」

私は山形県出身で、地元の工業高等専門学校を卒業しました。この会社を知ったのは、在学時に研究室の先生から勧められたのがきっかけです。また、学校の先輩が入社しており、会社の雰囲気や仕事内容を聞くことができたのも入社決め手でした。

現在は、機械の開発を担当しており、最近ではAIを用いた異物検知装置を開発しました。もともと、既製品の購入を検討していましたが、高額だったため自分たちで作ろうという話になりました。「無い

なら自分たちで作ろう」という社風が表れていると思います。

仕事では取引先の要望に「できない」と言うのではなく、「どうやったら実現できるか」ということを考えるようにしています。出来上がったものがしっかり動くか不安もありますが、楽しみの方が大きく、取引先の要望以上のものができた時にやりがいを感じますね。

他の部署の人とも協力的で、自分のやりたいと思ったことに対して、応援し、後押ししてくれる会社ですね。



平泉 功太さん  
(入社6年目)

今は何もないこの土地が  
平戸から世界へと  
高い技術力を発信する拠点となり  
新たな起点となる

平戸市工業団地(田平町古梶免11番地11)

## これまでの企業誘致のあゆみ

田平町に平戸市工業団地が完成してから2年。ついに、高い技術力で国内外から評価を得るKTX株式会社の進出が決定しました。

企業誘致が平戸市にもたらす効果とこれまでの取り組みについて、担当者に聞きました。

### 「夢あふれる未来のまち平戸」の実現のために



文化観光商工部企業立地推進室

室長 白石 二也

#### 企業ニーズに応える制度の充実と地道な営業訪問

企業誘致は、雇用の創出と若者の市内定着に即効性があります。また、市民の所得向上にもつながり、次代を担う産業と働く場を生み育て、平戸市未来創造羅針盤が描く未来像である「夢あふれる未来のまち平戸」を実現するための重要な施策の1つです。

市は、時代と共に変化していく企業のニーズに対応した助成制度を充実させることで、本市へ立地することのメリットを高めるとともに、長崎県、長崎県産業振興財団と連携した誘致活動を展開してきました。

いて行けないのが現実です。また企業誘致は立地が実現しないと成果はゼロと判断される厳しい業務でもあります。そのため、市では平成19年度から長崎県産業振興財団に3人の職員を派遣。県と市が緊密に情報共有を図りながら企業誘致活動を進めてきました。

#### 1,111社目の出会い

企業はこれまで多くの人手を必要としてきましたが、昨今は高性能・高効率な工作機械などによる生産重視に大きく変わってきています。また、自然災害などの緊急事態に遭遇しても事業を継続していくことを求めています。こうした事を踏まえ既存工業団地の活用や新工業団地の整備を計画的に進め、誘致にかかる助成制度も企業から求められているものにつくり上げてきました。

多くの企業を訪問する中で、1,111社目の出会いがKTX株式会社でした。この出会いが実を結んだのは、市や県、長崎県産業振興財団だけの力ではなく、既存工業団地の活用に耳を傾けてくれた皆さん、新しい工業団地を整備するために理解と協力をしてくれた地元の方々、卓越した知識と技術力により工業団地の設計、造成工事に尽力いただいた長崎県土地開発公社と建設業者の皆さん、企業情報を頂いた市民や優しく見守っていただいた市議会、またこれまで私たちが訪問した地元企業をはじめ多くの企業の支援の賜物です。ありがとうございます。

今後も、「夢あふれる未来のまち平戸」を実現のため企業誘致活動を進めていきます。